



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月7日

上場会社名 科研製薬株式会社
コード番号 4521 URL <https://www.kaken.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 近藤 康彦

TEL 03-5977-5002

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	18,254	0.6	2,750	16.5	3,011	13.7	1,754	30.1
2024年3月期第1四半期	18,150	0.3	3,293	18.8	3,488	19.5	2,510	13.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,607百万円 (57.8%) 2024年3月期第1四半期 3,810百万円 (26.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	46.32	
2024年3月期第1四半期	66.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	174,777	142,520	81.5
2024年3月期	171,623	143,755	83.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 142,520百万円 2024年3月期 143,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		75.00		75.00	150.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		115.00		75.00	190.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年3月期(予想)の1株当たり第2四半期末配当金の内訳 普通配当 75円00銭 特別配当 40円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,500	22.8	20,800	118.6	21,200	113.0	14,200	76.9	374.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	45,939,730 株	2024年3月期	45,939,730 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期1Q	8,070,053 株	2024年3月期	8,070,003 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	37,869,727 株	2024年3月期1Q	37,472,900 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式が含まれております(2025年3月期1Q 28,200株、2024年3月期 28,200株)。また、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2025年3月期1Q 28,200株、2024年3月期1Q 33,400株)。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

国内医薬品事業におきましては、高齢化社会の進行等によって国の医療財政が逼迫する中、薬価制度の抜本改革をはじめとする様々な医療費抑制策が進められており、中間年薬価改定の実施等、当第1四半期累計期間においても引き続き厳しい事業環境にあります。

このような環境の中、当社グループは、2022年を起点とする10か年の経営計画において、製薬業界を取り巻く厳しい状況や、それに伴う当社グループの長期的課題を分析し、2031年ビジョンとして「画期的新薬の迅速な創出・提供により健康寿命延伸に貢献し続ける企業」「皮膚科、整形外科領域を中心にグローバルに展開する創薬企業」を掲げました。また、当社グループは、ビジョン実現のための戦略として「研究開発」「海外展開」「経営基盤」の3つのTransformationを策定し、研究開発への積極的な戦略投資、高い有効性と安全性を有し世界に通用する医薬品を効率良く創出・販売できる体制の構築、挑戦と変革を追求し続ける人材の育成等を進めております。農業薬品事業におきましては、主力品である微生物由来の天然物質農薬「ポリオキシシン」の成長戦略を柱とした価値の最大化をはかっております。以上の戦略を通じて経営計画達成に向けて取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は18,254百万円(対前年同期比0.6%増)であり、前年並みとなりました。利益面では、主に販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は2,750百万円(対前年同期比16.5%減)、経常利益は3,011百万円(対前年同期比13.7%減)となりました。販売費及び一般管理費が増加した主たる要因は、研究開発費が対前年同期比15.3%増加し、2,998百万円となったためであります。親会社株主に帰属する四半期純利益は、主に投資有価証券評価損計上による特別損失が発生したことにより、1,754百万円(対前年同期比30.1%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、当社グループがニューマブ・セラピューティクス社(以下、「ニューマブ社」という。)とアトピー性皮膚炎を対象に共同開発している新規多重特異性抗体「NM26」について、ジョンソン・エンド・ジョンソン社(以下、「J&J社」という。)の関連会社であるシーラグ社との間で知的財産権の譲渡及び販売提携オプション契約を締結いたしました。本契約締結に伴い、当社グループはJ&J社から2025年3月期中に契約一時金を受け取るとともに、今後のJ&J社の開発の進捗及び売上の目標達成に応じたマイルストーン収入、ならびにアジアでの売上に応じたロイヤリティ収入を受け取る権利を取得いたしました。一方、当社グループはニューマブ社と締結した「新規多重特異性抗体医薬に関するライセンス・共同開発契約」を解約いたしました。ニューマブ社から契約一時金及びJ&J社の開発の進捗に応じたマイルストーン収入を受け取る権利は存続しております。

また、農業薬品で世界的にSDGsの取組みが高まっていることを背景に、天然物質農薬「ポリオキシシン」の欧米等での需要拡大が見込まれることから、当社グループの静岡工場内に、発酵農薬原体の製造工場を建設することを決定いたしました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 薬業

医薬品・医療機器につきましては、薬価改定の影響等により爪白癬治療剤「クレナフィン」等の売上が減少したものの、関節機能改善剤「アルツ」等の売上増加や、めまい・平衡障害治療剤「メリスロン」及び筋緊張改善剤「ミオナール」(2024年3月にエーザイ(株)と日本国内の製造販売承認を承継する契約を締結した2製品)の販売権の許諾に対するロイヤリティ収入により、増収となりました。

農業薬品につきましては、主力品である「ポリオキシシン」が海外の販売先での在庫調整の影響を受けて売上が減少したため、減収となりました。

この結果、売上高は17,643百万円(対前年同期比0.6%増)、セグメント利益(営業利益)は2,410百万円(対前年同期比18.9%減)となりました。

なお、海外売上高は992百万円(対前年同期比34.7%減)となりました。

② 不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は611百万円(対前年同期比0.9%増)、セグメント利益(営業利益)は340百万円(対前年同期比5.7%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は174,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,153百万円の増加となりました。これは主に、固定資産(有形固定資産)「その他(純額)」(建設仮勘定)の増加によるものであります。

負債は32,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,389百万円の増加となりました。これは主に、流動負債「その他」(営業外電子記録債務)の増加によるものであります。

また、純資産は142,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,235百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

自己資本比率は、81.5%(前連結会計年度末83.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表しました2025年3月期通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

1. 2025年3月期連結業績予想の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	75,100	7,400	7,800	5,600	147円88銭
今回修正予想(B)	88,500	20,800	21,200	14,200	374円97銭
増減額(B-A)	13,400	13,400	13,400	8,600	—
増減率(%)	17.8	181.1	171.8	153.6	—
(参考)前期連結実績 (2024年3月期)	72,044	9,513	9,951	8,025	212円67銭

2. 業績予想修正の理由

2025年3月期の連結業績につきましては、増収増益を見込んでおりましたが、2024年5月29日に公表しました「「NM26」の知的財産権譲渡及び販売提携オプション契約の締結」においてJ&J社、ニューマブ社より総額8,600万米ドルを契約一時金として受け取ることになりましたので、増収増益を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,625	51,863
受取手形、売掛金及び契約資産	23,744	24,556
有価証券	14,699	14,698
商品及び製品	8,062	7,989
仕掛品	2,786	2,284
原材料及び貯蔵品	6,319	6,815
その他	736	866
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	106,974	109,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,734	15,744
その他（純額）	9,620	11,047
有形固定資産合計	25,355	26,792
無形固定資産		
仕掛研究開発	5,800	5,800
その他	1,662	1,597
無形固定資産合計	7,462	7,397
投資その他の資産		
投資有価証券	20,532	20,255
その他	11,298	11,258
投資その他の資産合計	31,831	31,514
固定資産合計	64,648	65,704
資産合計	171,623	174,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,976	7,274
電子記録債務	123	121
短期借入金	3,850	3,850
未払法人税等	76	724
賞与引当金	946	441
その他	7,050	10,690
流動負債合計	19,024	23,101
固定負債		
株式給付引当金	137	109
退職給付に係る負債	6,393	6,373
繰延税金負債	1,947	1,947
その他	365	724
固定負債合計	8,843	9,155
負債合計	27,868	32,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,462	11,462
利益剰余金	128,506	127,418
自己株式	△28,613	△28,614
株主資本合計	135,207	134,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,184	7,279
繰延ヘッジ損益	—	△221
退職給付に係る調整累計額	1,363	1,342
その他の包括利益累計額合計	8,547	8,400
純資産合計	143,755	142,520
負債純資産合計	171,623	174,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	18,150	18,254
売上原価	8,094	8,202
売上総利益	10,056	10,052
販売費及び一般管理費		
給料	1,417	1,411
賞与及び賞与引当金繰入額	297	277
退職給付費用	68	41
研究開発費	2,600	2,998
その他	2,379	2,573
販売費及び一般管理費合計	6,762	7,301
営業利益	3,293	2,750
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	247	284
その他	7	16
営業外収益合計	256	306
営業外費用		
支払利息	4	5
為替差損	52	19
その他	5	20
営業外費用合計	61	45
経常利益	3,488	3,011
特別利益		
その他	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	37	33
投資有価証券評価損	—	605
その他	0	—
特別損失合計	38	639
税金等調整前四半期純利益	3,451	2,371
法人税等	940	617
四半期純利益	2,510	1,754
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,510	1,754

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,510	1,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,301	94
繰延ヘッジ損益	—	△221
退職給付に係る調整額	△1	△20
その他の包括利益合計	1,300	△146
四半期包括利益	3,810	1,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,810	1,607

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	17,226	—	17,226	—	17,226
製品の販売等に関する ライセンス契約	318	—	318	—	318
顧客との契約から生じる 収益	17,545	—	17,545	—	17,545
その他の収益	—	605	605	—	605
外部顧客への売上高	17,545	605	18,150	—	18,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,545	605	18,150	—	18,150
セグメント利益(営業利益)	2,972	321	3,293	—	3,293

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	16,990	—	16,990	—	16,990
製品の販売等に関する ライセンス契約	652	—	652	—	652
顧客との契約から生じる 収益	17,643	—	17,643	—	17,643
その他の収益	—	611	611	—	611
外部顧客への売上高	17,643	611	18,254	—	18,254
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,643	611	18,254	—	18,254
セグメント利益(営業利益)	2,410	340	2,750	—	2,750

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	639百万円	638百万円
のれんの償却額	4	19